

事業者向け 児童発達支援事業所自己評価表 明日風Ⅰ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか(※障がい者施設基準：1人当たり3㎡)	○			支援室52㎡(一人当たり5.2㎡)
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準：管理者1・児発管1・支援スタッフ2 当事業所は、管理者1名・児発管1名・保育士1名・児童指導員3名で配置している。
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか。	○			清掃は支援終了後・支援開始前に毎日行っている。また、玩具は直接目に触れる所には置かない等、遊びや活動に集中出来る様に配慮している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月1回スタッフ会議を開き、現状の支援・業務の様子等の把握など全スタッフが参加で行っている。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表を配布し、頂いた意見などをもとに業務改善につなげている。また、アンケート結果を कोरोレ通信にて公表している。
	7	この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				コロナ過のため、外部からの訪問等は遠慮いただいている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				コロナ過のため、研修の積極的参加は避けています。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		気になるニーズに対して聞き取りを行い、計画の作成をしている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメント用紙を使用しているか	○		会社で統一したアセスメント用紙を活用している。
	12	児童発達支援計画には児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14	活動プログラムの立案をチームや担当・役割を決めて行っているか	○		日替わりで日案などの活動プログラムを作成し、担当・役割を設定して活動を進めている。
	15	活動プログラムを利用者の特性に合わせ柔軟に工夫しているか	○		終始参加することが難しい・調子がすぐれない等があった際には、個別に対応したり、いつでもサポートできる体制を取っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○		それぞれの個人目標に沿って活動内容に合わせた計画を作成している。
	17	各事業所管理者による朝礼記録での情報共有や各事業所の日案における支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼事項・日案事項を確認し、業務を進めている。
	18	適宜、合間の時間や支援終了後に、職員間での打合せやその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		休憩時間をできるだけ合わせるようにしている。
	19	日々の支援に関して計画に沿った記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別記録の項目を個別支援計画の目標に沿った記載にしている。また、課題提供・実施状況についての個人記録を付けている。
20	個別支援計画に合わせたアセスメント・モニタリングを行い、必要であれば児童発達支援計画の見直しの判断しているか	○			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に管理者や児発管もしくはその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園特別支援学校（幼稚部）等の中で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			支援者会議等で各機関と連携を取り、お子様の活動の様子・支援の様子などの情報共有は積極的に行っている。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）等の中で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達支援障害センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				例年はあすかぜ保育園と定期的に交流していたが、今年度については新型コロナの影響により自粛している。
	27	（自立支援）地域協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議へ積極的に参加しているか				今年度については新型コロナの影響により積極的な参加はしていない。
	28	連絡帳の活用、個別での対応（電話・送迎時・事業所内相談）など日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎利用時に連絡帳の活用・送迎時の引継ぎの際や電話連絡にて進めているが、今後はICT化の活用など、保護者の要望に沿った方策を検討していく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者からの家庭内・幼稚園・保育園での養育について相談があると随時応じている。また、状況に応じて保護者の困り感を引き出すような関わりも心掛けている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	32	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的ではないが、送迎時・連絡帳の記載内容などを加味して、サポートする体制を取っている。
	33	行事の開催、保護者説明会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				今年度については新型コロナウイルスの影響により行事・説明会共に見送っている。
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	35	定期的に कोरोレ通信を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			発行はしているが、活動概要などの発信がなかったため活動の様子など、よりわかりやすい情報提供をしていきたい。
	36	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			電話連絡・メール・連絡帳への記載など、伝わりやすい推断を選び、対応している。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				個人情報の問題、保護者が望んでいない場合もあるので積極的に機会を設けていない。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			कोरोレ通信・または号外を発行し、保護者・職員へ周知している。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			今年度については、スタッフのみでの確認をしている。
	41	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか	○			
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会や虐待チェックリストの実施等、適切な対応をしているか	○			
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				現状では該当児童はいないが、該当がある場合は設問に沿って進める。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づいた保護者の指示に基づいて対応がされているか	○			
	45	各事業所会議時にヒヤリハット事例をあげ、内容の共有・改善策を講じて共有しているか	○			